

な が や ま っ 子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」

龍ヶ崎市立長山小学校学校だより

令和7年10月31日 No.15

子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業

地域人材を生かした「キャリア教育講演会」

6年生児童を対象に、「子供が主役！魅力ある学校づくり推進事業」を活用して、キャリア教育講演会を3回にわたり、実施しています。様々なご経験をおもちでいらっしゃる、地域の方を講師として招聘し、子供たちにご講演いただいております。

9月17日（水）には、第1回として、パイナリーフコンサルティング代表の江本 知正様が、『『なりたい自分』になるために』をテーマにご講演くださいました。

将来就きたい職業だけでなく、「こんな人になりたい」、「こんな生き方をしたい」という夢をもつことは大切なことです。「なりたい自分」になるために、今できることは何なのか、自分の長所は何なのか、講演を聞きながら子供たちは真剣な表情で考えていました。また、講演中のペアワークを通して、「相手の話を聴く」ことの大切さも学ぶことができました。「聴」の漢字に注目して、「相手の話を聴く」ということは、ただ耳で音を受け取るだけでなく、相手の目を見て、相手の気持ちを心で受け止め、伝えたいことを感じ取ることだと教えていただきました。

第2回では、10月28日（火）に、長山コミュニティセンター長 駒木根 敬之様を講師として招聘し、「砂漠での遭難」というグループ活動を通して、合意形成の仕方やよりよいコミュニケーションについて学びました。「砂漠での遭難」は、飛行機事故で砂漠に不時着したという設定のもと、限られたアイテムの中から「どれを優先的に使うべきか」を仲間と話し合い、グループでの合意を目指すものです。子供たちは、「自分の意見をどう伝えるか」、「相手の意見をどう受け止めるか」、「どうすれば全員が納得できるか」を考えながら、活発に意見を出し合っていました。

活動後には「自分一人より、みんなで考えるほうがよりよい答えになる」、「話合うことの大切さが分かった」という感想が多く聞かれました。

第3回は、11月26日（水）を予定しています。今後も、日々の各教科等の授業、友達との関わり等を通して、子供たちが「なりたい自分になる」ために、仲間と協力しながら課題を解決する力を身に付けることができるよう努めてまいります。

